

拠出金名:昭憲皇太后基金

国際機関等名	昭憲皇太后基金 (英文名称・略称) The Empress Shoken Fund					
種 別	国連本体	国連専門機関	その他			
所轄官庁担当局課名	外務省国際社会協力部人道支援室					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千スイスフラン)	レ ー ト		
平成16年度	0				(2004年)	
平成15年度	0				(2003年)	
平成14年度	8,500	69.7	119.8	1\$=122円 1CHF=71円	(2002年)	
拠出上位5ヶ国				本基金の財政 (年度決算)		
	国 名	(千ドル)	率(%)	当該年度の収入	ドル	
1位	日本		100	当該年度の支出	ドル	
2位				次年度への繰越	ドル	
3位				会計検査機関名		
4位				KPMG Fides Peat		
5位				(現在の構成員の出身国:)		
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
<p>本基金は、開発途上国赤十字・赤新月社の人道的諸活動を推進するために使用されており、皇室(御下賜金)、官(政府よりの拠出(ここ数年は拠出実績なし。))、民間(個人、団体よりの寄付(平成17年5月、明治神宮崇敬会より3,000万円が贈呈された。))による我が国独自の独創的な基金である。開発途上国の平時における赤十字事業の振興に役立っているとして、ICRC、IFRC、各国赤十字社より極めて高い評価を得ている。本基金により購入された救急車両等には「A Gift of the Empress Shoken Fund(昭憲皇太后基金よりの贈呈)」との表記がなされ、関係諸外国に広く知れ渡っている。また、ジュネーブにて開催される年次会合には、ジュネーブ代表部大使が参加している。</p>						
<p>合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価</p>						
<p>開発途上国の赤十字・赤新月社により提出される申請を赤十字国際委員会(ICRC)、赤十字・赤新月社連盟(IFRC)の代表者からなる合同委員会が審査し、資金配分を行っている。毎年昭憲皇太后基金の合同委員会の年次会合が開催され、財政報告・監査報告に加え、前年度の資金の配分報告と当該年度の配分案について発表が行われており、透明性の確保、基金の効率的な運営に努めている。</p>						
邦人職員数 うち幹部以上	うち	人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にしめる 率		人 %	
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
<p>本件基金はICRC、IFRCの代表それぞれ3名ずつの計6名からなる合同委員会により運営されており、そこに邦人職員が送り込まれる余地はない。</p>						

(注)我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2002年～2004年)。